

D
13

富山県金型協同組合

住 所	〒939-1315 富山県砺波市太田1889-7		
U R L	http://www.kanagata.or.jp/		
設 立	昭和44年9月	主 な 業 種	一般機械器具製造業
組 合 員 数	22人(21組合)	出 資 金	43,570千円

■背景・目的

当組合は金型のベースであるモールドプレートの共同購入・共同加工、特殊技術や特殊加工を要する共同加工事業、射出成型機を導入した成型試作事業を大きな事業の柱としている。

近年は金型製品の高精度化と高品位化に従って、製造加工の技術レベルの高いものを要求されることから、組合でも時代の技術ニーズにマッチした設備投資を継続的に行ってきた。

個々の企業が大きな投資を負担することなく便宜を享受できるように図るもので、組合自体の技術の錬磨と並行させていく事業モデルとしている。

■取組みの手法と内容

当組合では「金型一式の受注」は行っておらず、組合員事業のバックアップを主事業として、個別企業単位では導入の難しい特殊な機械設備や高性能機械を兼備し、組合員からの多用な要望に応えるために金型に関するあらゆる知識を有し、技術面・作業面・開発面において、その経験の蓄積と新しい分野への挑戦を通じて、金型産業の成長・発展に広く貢献する事を目指している。

そのため共同加工事業では、組合員の資金負担に対する配慮として、個別企業では導入が困難で高額な設備を組合が代わって導入しており、資金の借り入れ調達に際しては、個人保証をしない組織体制としている点も特筆される。

これらの事業内容は設立当初からのものではなく、金型業界の成長、技術の高度化による環境変化に合わせて進化させてきた経緯によるものである。今後はさらに労働力不足、外注事業者の減少傾向といった問題に対して組合自身が対応力を築いていくこととしている。

■成果とその要因

昨今の業績ではモールドプレート共同購入・共同加工と、金型製造工程の特殊加工を必要とする共同加工事業が概ね半々の水準で推移している。それは市場ニーズの変化に沿うものであり、金型製造がピーク時から5分の1に減少していることを考慮すれば、組合が提供するサービスの役割には重みが増す。今後は組合員からの試作要請等に対して積極的に対応していくことで、新たな需要の喚起に結びつけたいとしている。



組合の外観



金型加工場と先端設備群

特徴ある活動



Point

適切なサービスを提供するための技術力の錬磨、高度な設備を利用できる体制のための組合による債務保証、環境の変化に応じた的確な対処策を提案し続けていくこと。